

平成31年度 第1回鎌ヶ谷市文化財審議会会議録

開催日時 平成31年4月17日（水） 午後3時30分～

開催場所 鎌ヶ谷市役所庁舎5階 503会議室

出席委員 下津谷達男委員長、佐藤武雄副委員長、石神裕之委員、
金出ミチル委員

欠席委員 小川浩委員

事務局 皆川教育長、狩谷文化・スポーツ課長、後野文化係長、大竹主任主事

傍聴者 なし

- 1 開会
- 2 教育長あいさつ
- 3 委員長あいさつ
- 4 会議録署名人の選出について
会議録署名人に佐藤副委員長・石神委員を指名（名簿順）
- 5 議題

【報告事項】

（1）文化財の指定について

事務局より会議資料に沿って報告した。

〔質疑なし〕

（2）その他

①国史跡下総小金中野牧跡周知普及事業について

事務局より会議資料に沿って報告した。

〔質疑〕

下津谷委員長：とっこめ桜まつりの参加者は、市内が多いのか。

事務局：参加者へのアンケートを取っていないので、全体的なことはわからないが、市外からの参加もあると把握している。

金出委員：新聞の千葉版のイベント広告を見て、各地のイベントに参加することが多い。市外の方に向けて、新聞の広告に掲載することも有益

ではないか。

事務局：新聞広告は出してないが、沿線の駅にポスターを掲示していただいている。新京成電鉄株式会社の広報誌には情報を載せているため、市外の方はそれを見ていると思われる。

②渋谷家調査 中間報告について

金出委員より資料に沿って報告があった。

〔質疑〕

下津谷委員長：トイレ、風呂はどうなっているか。

金出委員：それらは増築である。その手前の9畳間は勝手と呼ばれる部屋で図面で線が引いてある部分は段差になっており、床下を調べればかつての家の痕跡が残っている可能性もある。

事務局：門は移築とあったが、年代は分かるか。

金出委員：不明である。部材の加工痕や釘などの道具によって推定できる。今後調査する必要がある。

下津谷委員長：建物は保存が大変である。現在は人が住んでいないということだが、窓を開けて吸気の入換えをしているのか。

事務局：郷土資料館で資料を借りる際などに、空気の入換えをしている。ご当主が亡くなり、管理が段々難しくなっている。

金出委員：中野区に「中野区たてももの応援団」がいて、市内にある古民家に月1回は人が集まって何かする仕組みづくりをしている。例えば、沢庵屋敷と呼ばれている茅葺屋根の古民家では、沢庵づくりや味噌づくりをして人を集め、その際に、掃除や風を入れる作業をしている。イベントを通じて、みんなにこういう家があるという事を知ってもらう目的もある。

下津谷委員長：考えて実行するのが大変である。

金出委員：続けるのも大変である。「春の牧ウマまつり」が第11回というのはすごいことだと思う。

渋谷家がある中佐津間で、今現在どんな建物や蔵があり、何年に建てられたものなのかなど、集落として悉皆調査をする必要があるのではないか。船橋市の大神保で、集落の調査をしている。

佐藤委員 : 大神保の調査の時に関わったが、間取りを書きとるのに時間がかかった記憶がある。

下津谷委員長 : 渋谷家の茅葺屋根はどのような状態か。

金出委員 : 比較的良い状態で保存されている。

下津谷委員長 : 渋谷家の茅葺に、カーボン（煤）は付いているか。

金出委員 : 炉からの煙が届いているところは、真っ黒である。天井に間仕切りがあって、煙が届かないようにしているところは、きれいな状態である。

下津谷委員長 : 茅葺屋根の耐年数はどのくらいか。

金出委員 : 茅葺屋根の状態と環境による。

下津谷委員長 : 流山市にある花野井家の茅葺屋根の年数は、茅葺屋根の保護のために火を焚いたり、補修をしたりしているが、だいたい15年くらいである。

茅の葺き替えに相当費用が掛かる。補修時に国や県の補助金を活用していたが、現在の補助率はどうなっているか。

事務局 : 県と市町村の財政力指数による。また、県補助がない場合もあるので個別相談である。

渋谷家については、土地購入が問題で、今後の課題である。

下津谷委員長 : 市単独の予算で実施するのは大変である。指定や登録すれば、補助金の対象となる場合もある。

事務局 : 渋谷家と野々山家については、登録文化財に向けた文化庁の実査の希望を出している。

金出委員 : 文化財に限らず、各省庁の補助金が活用できる場合もある。

閉会

【会議終了】

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証する。

令和元年6月11日

署名人 佐藤 武雄
石神 裕之